

## 貞享義民記念館

TEL 77・7550 FAX 77・7551

## 小宮山巖 卵絵展

廃棄物になる卵の殻を工夫して絵を描いた作品を展示する「卵絵展」を開催します。花や風景、錦絵、人物等を題材にしており、今回はその作品の中から、力作数十点を展示します。

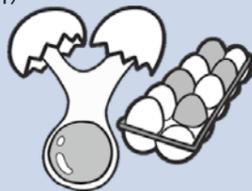
●期間 1月8日(火)～26日(土)

●時間 午前9時～午後5時

※最終日午後3時まで

●場所 1階企画展示室

●入館料 無料(常設展は有料)

●休館日 月曜日  
(祝日の場合はその翌日)

## 碌山公園研成ホール

TEL FAX 82・0769

## 【第40回安曇野デッサン研究会】参加者募集

絵画や彫刻を学びたい人、あるいは人体デッサン未経験の人を対象に、人体の造形表現を自由に追及できるデッサン会を、絵画表現と立体表現の2コースに分けて行います。

●日時 1月4日(金)～6日(日)午前9時30分～午後4時45分※1日だけの参加も可

●参加料 3日参加8,000円、1日参加3,000円

●申し込み 当日、会場で受け付けします。

●持ち物 (絵画表現) デッサン用具・イーゼル等  
(彫刻表現) 粘土・彫塑用具・彫塑台等

●その他 絵画表現は、木炭デッサン・油絵など自由です。画材は、会場でも販売します。

●場所 碌山公園研成ホール研修室Ⅱ

●問い合わせ先 安曇野デッサン研究会事務局  
高野 博 (TEL 77・2242)

## 烏川溪谷緑地

TEL FAX 73・0203 ✉ karasu@anc-tv.ne.jp

## 第56回からの学校「アニマルトラック」

野生動物の足跡や食痕などの痕跡探しをとおして、冬の烏川の自然に触れてみませんか。

●日時 2月7日(木)午前9時～正午

●場所 烏川溪谷緑地水辺エリア

●参加料 無料 ●定員 15人

●申込受付 1月7日(月)  
午前8時30分から電話・FAX・  
メールで受け付けます。

## 豊科近代美術館

TEL 73-5638 FAX 73-6320

## 臨時休館のお知らせ

増築工事のため次の日程で臨時休館します。大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。詳しくは、豊科近代美術館へお問い合わせください。

●休館期間 1月15日(火)～28日(月)

## 豊科郷土博物館

TEL 72・5672

## 安曇野歴史散歩

## 「信濃初の本格寺院・明科廃寺のなぞに迫る」

明科の明科廃寺跡からは古代の瓦など、建物の一部が出土しています。県内では最も古い時代に建てられた寺院だとも言われ、古代の安曇郡がどのように成立したかを考える上でも注目を集めています。この機会に安曇野の古代史に触れ、楽しんでみませんか。

## 第1回 講座「知ろう学ぼう 県内最古の明科のお寺」

●日時 1月26日(土)午後1時30分～

●会場 豊科郷土博物館

●定員 30人(先着順)

●受講料 無料(入館料が必要)

●申込方法 1月11日(金)～25日(金)の間に郷土博物館まで電話でお申込みください。受付は午前9時から午後5時まで

## 第2回 シンポジウム

## 「考えてみよう 明科廃寺の価値と将来のこと」

●日時 3月9日(土)午後1時30分～

●会場 豊科交流学習センター「さばう」(多目的交流ホール)

●申し込み 事前申込は不要です。

●受講料 無料

## 第3回 現地見学「見学しよう! 寿楽寺廃寺跡～明科廃寺と同じ形の瓦が出土した古代寺院～」(岐阜県飛騨市古川町太江)

●日時 3月30日(土)午前8時～午後6時(予定)

●定員 25人(応募者多数の場合は抽選)

●参加費 実費(バス代、保険料等)

●申込方法 1月11日(金)～3月12日(火)に、郷土博物館へ電話でお申込みください。受付は午前9時から午後5時まで



## 第38回友の会押絵展

友の会押絵部のみなさんによる作品展を開催します。郷土博物館を拠点に伝統ある押絵作りに励む会員の皆さんが、新春にふさわしい作品を中心に展示します。

●日時 1月8日(火)～20日(日)午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●会場 豊科郷土博物館 1階展示室

●入館料 大人100(80)円

( )内は20人以上の団体料金



## 第4回田淵行男賞写真作品公募

第4回田淵行男賞写真作品を公募します。田淵行男賞は、偉大な山岳写真家であり、昆虫生態学者であった田淵行男の業績を後世に残すと同時に、山岳写真・自然写真の分野の発展のため、新人の発掘を目的に、2000年に設立しました。

●テーマ 山岳、動植物の生態、自然環境に関すること等を記録したもの

●作品

○5枚以上20枚以内で構成される組写真を1点とする。応募点数の制限なし

○カラー、モノクロ、デジタルは不問

○応募作品のサイズは、四つ切り(ワイド可)またはA4のプリント(インクジェットプリントも可)に限る。

○写真には1点ごとに裏面に連番を入れ、撮影データ(キャプション・撮影場所・撮影時期)、氏名、住所、電話番号、年齢、職業を明記した応募票(自作可)を添付する。

○写真のほかに1,000字以内の制作意図(あるいは研究趣旨)などの文章を、別紙に記入して添付すること。

○個人の写真展もしくは写真集等で発表したものについては、その内容を明記すること。ただし、すでに別の賞を受けた作品(類似作品)は応募できない。

○入賞作品の著作権は本人に帰属する。ただし、田淵行男記念館は、展示・刊行物への掲載を無償で自由に行えるものとする。

●出品料 無料

●賞 田淵行男賞(賞金100万円・賞状・副賞)1人、特別賞(アサヒカメラ賞、日本カメラ賞、フォトコン賞、山と溪谷賞/賞状・副賞)各1人

●選考 選考委員長 飯沢耕太郎(写真評論家)、選考委員 海野和男(写真家)/水越武(写真家)/宮崎学(写真家)/勝又ひろし(アサヒカメラ編集長)/大森久雄(編集者)/財津達弥(田淵行男記念館副館長)

## 田淵行男記念館

TEL 72・9964 FAX 88・2010

●応募締切 2月末日

●発表 平成25年4月中旬に田淵行男記念館ホームページ等にて発表します。市内およびニコンサロン bis 新宿・ニコンサロン bis 大阪で受賞作品展を開催します。

●応募・問い合わせ先 田淵行男記念館

## 1月は市民の入館が無料

市在住の人は、1月31日まで何度でも無料で入館いただけます。名誉市民の田淵行男が撮影した傑作の数々をこの機会にご覧ください。

※免許証など住所が確認できるものをご提示ください。

田淵行男記念館



## 伊藤圭写真展「私と水晶岳とその光」

伊藤圭(1977～)の作品は、山で生活する人間だからこそつかむことのできる独特の空気感で満たされています。

今回は、第3回田淵行男賞岳人賞受賞作品「私と水晶岳とその光」20点のほか、「日々刻々変化する景色のすべてに美しさが内包されている」と語る伊藤の、受賞後に撮影された作品群「無常の景色」も同時公開します。

●会期 1月5日(土)～3月20日(水)

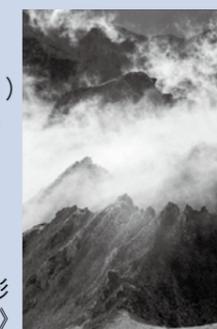
●会場 田淵行男記念館

●休館日 月曜日(祝日は開館)  
祝日の翌日(1月15日、2月12日)  
年末年始(12月28日～1月4日)

●入館料 高校生以上300円

伊藤圭撮影

《水晶小屋前のトサカ岩と冷たい霧》



再発見! 安曇野の文化 その13

TEL 62・3090 FAX 62・3525

三郷の道祖神祭り  
(北小倉の御柱)

(県無形民俗文化財)

「御柱立て出てくりやい」  
元日の早朝、北小倉の上手村・下村・中村の各地区では子どもたちの元気な声が響きます。

北小倉の道祖神祭りは子どもたちの行事です。大人たちも集まってきて、集落の道祖神の前では木遣りの歌に合わせて巨大な御柱が立ち上げられます。御柱は赤い円形の「目天」や、白い三日月形の「月天」、たくさんのお花などで華やかに飾られています。

市内の御柱は道祖神のそばに立てられ、道祖神に1年の平穏と五穀豊穡を願う正月の行事として受け継がれています。

